県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名　米子西高等学校

重点項目	大学進学重点校	提出日	平成３０年２月５日

１　学校目標

質の高い授業と親身な指導を通して、進路実現に必要な学力をつけるとともに、地域社会の多様なニーズに応え、郷土に貢献する「知、徳、体、志」のバランスのとれた人材を育成する

２　重点項目に係る目標

自己実現を可能にする学力の向上（高い志の育成、質の高い授業の実践、学習習慣の確立、国公立大学に合格できる力をつけた生徒の増加）

＜数値目標＞

・アンケートにおける生徒の達成感に関する肯定的な回答が 70%以上（H29 生徒アンケートでは約 60%）、教師の指導力に関する肯定的な回答が 80%以上（同約 60%）になる

・全教員でアクティブラーニングに取り組む

・家庭学習時間調査で次の目標を達成する

平日：1・2 年生 2 時間以上、3 年生 3 時間以上

休日：1・2 年生 4 時間以上、3 年生 5 時間以上

※H29.9 月調査の 1 日平均（休日も含め）では 1・2 年生約 1 時間 50 分

3 年生約 3 時間 30 分

・1 月進研模試で偏差値 50 以上の生徒数が 1 年生で 160 人以上（H29.11 月模試で 75 名）、2 年生で 140 以上（同模試で 108 名）

・国公立大学および難関私立大学の現役合格者が 100 人以上（国公立大学 75 人以上、難関私立大学 25 人以上）となる

最近３年間の合格者数（一部抜粋）

国公立大学：平成２６年度５２名、平成２７年度５３名、平成２８年度５９名

私立大学：青山学院３名、法政２名、明治３名、早稲田２名、同志社６名、

立命館２０名、関西１７名、関西学院１０名（３年間の延べ合計数）

３　事業計画（事業名、事業概要）

【高等学校課事業】

・講師派遣事業

平成 29 年度に講師派遣事業で行った全教員でのアクティブラーニングを取り入れた授業および県外講師を招いての研究授業、示範授業(3 回)を平成 30 年度も学校独自事業で行い、研究授業および示範授業に合わせて県外から指導助言者を招いて職員研修を行うことで、アクティブラーニング型授業の一層のブラッシュアップを図る。また、研究授業あるいは示範授業でICTを活用したアクティブラーニング型授業を行う

・土曜授業等実施事業

年間 23 回程度鳥取大学医学部の大学生等を招聘して、土曜日に学校を開放し、自学・自習形式の学習会を午前中 3 時間半程度開催する

【独自事業】

・小論文・教科指導力向上

外部講師による生徒を対象とした小論文研修および大手予備校に教員を派遣して研修(アクティブラーニング研修含む)を行う

・長期休業中の学習会

夏季休業中の 5 日間外部施設を利用した 1 日 6 時間以上の自学自習を体験する事で、計画的・主体的に学習する態度の育成を目指す

・英語力向上事業

英検２級以上の取得を目指した英検受験講座および英検受験のための示範授業と授業計画をどのように構築するのかを研究する。また生徒の英語力向上で先進的な研究をしている方を外部から講師として招き、本校の英語教育の改革に役立てる

・米西版授業改革アプローチ事業

月毎に教科を指定し、その教科の全教員が研究授業を含めたアクティブラーニング（ITC活用も含む）に取り組み、それに合わせて他県の教員を招いての師範授業を行いさらなる手法のブラッシュアップを図る。また、高等学校課事業「講師派遣事業」と連動させ、相乗効果を図る